



スワンス・ホテル&ブリューパブ  
色鮮やかなハンギング・バスケットに囲まれた、ダウンタウンの代表的なブリューパブ。生バンドの演奏をバックにダンスに興じる人々に賑わっている



## ヴィクトリア・自然豊かな文化都市 ——小林 尚朗

2009年4月から2011年3月まで、カナダのヴィクトリア大学で在外研究の機会を頂いた。ブリティッシュ・コロンビア（BC）州の州都ヴィクトリアは、太平洋岸南端沖の自然豊かなバンクーバー島にある。カナダで最も温暖な気候に恵まれ、「ガーデン・シティー」と呼ばれるように、とくに春から夏にかけては街中に花が溢れている。世界中から観光客が訪れる一方、北米有数の別荘地・リタイヤ組の移住地として知られ、最近では新婚カップルを含む20〜30代の若者にも人気が高い。

ヴィクトリアは観光関連業が盛んで、人口当たりレストラン数は北米屈指と言われる。また、都市圏の人口は35万人ほどであるが、2つの大学と1つの短期大学すべて公立）、州政府を始めとする各種機関・役所、そしてカナダ海軍の一大拠点があるため、公的な職業に従事する人や学生の割合が高い。

ヴィクトリアはカナダの文化都市ランキングで第1位の常連である

る（カナダの代表的週刊誌、マクリー誌による）。市内に交響楽団やバレエ団、オペラ歌劇団、フィルハーモニー合唱団などを擁し、市民の半数以上が博物館や美術館に出かけている。スポーツやレクリエーションも盛んで、各種マラソン大会も毎月のように開催されている（フルマラソンは年2回）。対岸に米国の山並みが美しい海岸沿いでは、老若男女を問わずウォーキングを楽しんでいる。なお、人口当たり自転車通勤者数は北米



### Naoaki Kobayashi profile

商学部教授  
世界経済論、アジア経済論  
1971年 神奈川県生まれ  
1999年 明治大学大学院商学研究科博士後期課程退学。  
同年、明治大学専任助手。専任講師、助教授、准教授を経て、2009年より現職

【主な著書】  
『東アジア地域協力の共同設計』（共編著、西田書店、2009年）、『東アジアのグローバル化と地域統合』（共編著、ミネルヴァ書房、2007年）、『グローバルゼーションと国際貿易』（共編著、大月書店、2006年）

【所属学会など】  
日本国際経済学会、アジア政経学会、日本貿易学会など

で第1位を誇っている。

ヴィクトリアには英国の影響が色濃く残ると言われている。ガーデン文化、アフタヌーン・ティーやフィッシュ&チップスなどの食文化、そして盛大なハイランド・ゲームズ（スコットランドの伝統的大運動会）などである。また、古きを愛し、コミュニティを大切に、質素でブラックジョーク好きな人々にも、英国らしさが息づいているように思える。

他方で、私は滞在中にスコット



**カナダ最古の中華街を作った人々が眠る中国人墓地**

眼下の海に望郷の念が浮かんでくる。対岸に見えるのは世界自然遺産に登録されている米国のオリンピック国立公園



**ヴィクトリア大学のキャンパスに佇むトテムポール**

バンクーバー島はトテムポールの宝庫。キャンパス内にもいくつかのトテムポールが立っている。ちなみにヴィクトリアのピーコンヒル・パークには、世界で最も高いトテムポールがある

ランド系のサッカークラブに所属したのだが、チームメイト(私はクラブのなかで35歳以上のチームに所属)には英国系を中心にイタリア、ポルトガル、ウクライナ、デンマーク、アンゴラ、インド、メキシコ、そしてグアテマラからの移民や二世がいた。時には世代を超えた移民選手が音頭を取り、クラブハウスでイタリアン・ナイトやメキシカン・ナイトが開催され、大いに盛り上がった。

カナダは世界で最初に多文化主義を国是とした国である。つまり、カナダでは国民の20%が外国生まれであるが(ヴィクトリアもほぼ同じ)、多様な出自の民族が共通の価値観や文化に同化する「人種のるつぼ」ではなく、各出身国や各民族の伝統・文化の多様性を尊重し合いながら共存する「モザイク社会」を目指している。私はグローバル化が社会に与える影響を研究しているが、カナダの多文化主義はグローバル化する世界の共存を考えるうえで大変興味深い。ヴィクトリアでも、様々な文化に



**オークベイの海岸沿い**

マリンスポーツの他、散歩やジョギングに最適の道が続く。年間を通してアザラシやカワウソが見られる。新渡戸稲造の終焉地でもある



ヴィクトリアのハイランド・ゲームズ的一幕バグパイプ・バンドのコンテストの他、ハイランド・ダンス、丸太投げや重り投げなど、様々な競技がある

興味を持ち、それを体験したいという人にたくさん出会った。ウィズブル・マイノリティ(非白人)の私が、マイノリティであることとむしろ心地よく感じることをさえしはしばあった。

現在、カナダへの移民の過半数はアジア系、その大半が中国系である。ヴィクトリアは中国人がカナダ最古の中華街を形成したところでもある。中華街の裏路地にある行きつけの床屋で様々な話を聞かせてもらったが、かつて中国人は白人の墓地に入ることができず、風水の良い海岸近くの土地に中国人墓地を作ったという。戦前のBC州では、中国人に限らずインド人、日本人など、増大するア

ジア系の人々に対する差別が激しかった。収容所生活の経験がある日本人会のお年寄りに話を聞く機会もあったが、戦中には2万人あまりのBC州の日系人が財産を没収され、強制労働や強制収容に遭ったという。

カナダの多文化主義を話題に挙げると、過去の差別問題に対する反省を口にするカナダ人が少なくない。現在の状況に誇りを持っていくからこそ、過去に正面からふれることができているように思えた。

ヴィクトリアはまた暮らしてみたい街である。貴重な機会を与えてくれた明治大学に感謝したい。